

社員の健康を願う女性社長のパワーと情熱に圧倒されました。第16回 特別講演会報告

社員の健康のための投資は企業の成長戦略と考え、全力で取り組んでいます。 くまもとKDSグループ 代表取締役 永田 佳子

社員2人を生活習慣病で亡くし、実感した健康の大切さ

当社は熊本県で菊池自動車学校と熊本ドライビングスクールの2校を運営しており、私は母から経営を引き継いで10年になります。社長就任後まもなく、脳梗塞と肺がんで2人の社員を相次いで亡くしました。健康診断は全員が受けていましたが、再検査、要治療の診断がされても、そのまま放置する人が多かったのです。検診で病気が見つければ、治療するのが当然と思っていた私は、痛みを伴わない生活習慣病は治療せず済まされてしまうケースが多いことにショックを受けました。当社は「いのちをまもる自動車学校」をビジョンに掲げています。社員の命を守ることは社長の私の責務です。それから積極的に、健康経営に取り組んでいくことになりました。

再検査の結果報告とデータ管理

健康診断後の再検査の結果報告を就業規則で義務づけました。報告書には、治療計画と病状を踏まえての今後の働き方を、社員本人に記入してもらっています。また、会社も検診データを管理することで健康状態について社員と話がしやすくなりました。さらに産業医との全局面談を実施し、社員も会社側も健康について相談しやすい環境が整いました。

栄養バランスを考えたランチを会社が半額負担で提供

健康は良い食事から。管理栄養士の指導のもと、カロリー計算された食事を業者に依頼し提供しています。1食440円のうち220円を会社が負担しています。これを続けるうち、社員の健康意識が高まり、食事の最初にサラダを食べるベジファーストを社員自ら実行し始め、現在はサラダも100円で会社が提供しています。

禁煙宣言で、社員の喫煙率が81%から6%に！

禁煙については喫煙時間の制限、エリア制限、分煙機の導入など、2009年からあらゆる取り組みをしてきましたが、うまくいきませんでした。産業医から「タバコは一斉に一発でやめなければだめ」と言われ、2015年から社員の敷地内全面禁煙をスタートさせました。同時に、年に1回専門医によるタバコの害についての勉強会を実施しています。禁煙挑戦者には仲間の前で禁煙宣言をもらい、3ヶ月間禁煙できたら、会社から成功祝い金を渡しています。こうした取り組みの結果、社員の喫煙率は81%から6%になり、現在、喫煙者は6名のみです。

2017年からは敷地内全面禁煙に踏み切り、当社の入校案内や申込書には全て禁煙のマークを入れました。入校申し込みのお電話でも禁煙をお伝えし、お客様のご協力を仰いでいます。

受動喫煙防止の動きはTV・新聞などでも紹介され、広がっています。今年から高校生向けの受動喫煙防止プロジェクトをスタートさせました。自転車安全教室のあと、10分だけ時間をいただき、自動喫煙について勉強してもらっています。

国内で年間13万人がタバコが原因で亡くなり、15,000人が、自分ではなく他人の喫煙による受動喫煙で亡くなっています。国では改正健康増進法が7月に施行され、受動喫煙防止の動きはさらに活発になっています。当社の取り組みもTV、新聞などで何度も取り上げられ、結果的にその広告効果も計り知れないものになりました。さらに、健康には運動は不可欠。当社ではスマホアプリの万歩計を使い、社員皆で競い合っています。3日以上休みが続くときは社員全員で賞品付きの万歩大会を開催しています。

奥様へのラブレター作戦で受診率が70%から94%へ

社員の家族の健康も積極的に守りたいとの思いで、健保が送る被扶養者の特定健康診断のお知らせに、「奥様の支えがあつての社員です。ぜひ検診を受けてください」と社員の奥様あてのラブレターを添えています。検診費用は会社が負担しています。

その効果もあつてか、受診率は1年で70%から94%まで上昇しました。他にも、社員のがん検診や風疹麻疹の予防接種も会社で全額負担しています。

社員が健康で元気だと職場が明るくなり、生産性がアップする。その結果収益が上がり、社員の報酬もアップ。仕事にやりがいを感じ、社内に団結力が生まれる。定年の延長やマンパワーが充実する。自社ブランドが構築でき、次の一手が打てる。これが私の考える「健康が生み出す企業発展の好循環」です。

クイズ、ダンス、大抽選会と、てんこ盛りだった懇親会

講演会終了後はお楽しみの懇親会。コヤマドライビングスクール長期研修生「轟会」メンバーによるクイズは、前回に引き続き、メンバーによる郷土色豊かなお土産が賞品に。勝敗の結果は大混戦となり、2位がなんと3チーム。女子3人によるじゃんけん対決となりました。続いてKKエンジン(営業メンバー)の手話ダンスステージ。今回は新曲でサザンオールスターズの東京 VICTORY、希望の轍、いとしのエリーをメドレーでお届けしました。

最後は、1等賞品10,000円クオカード他が当たる大抽選会で盛り上がりました。



特別講演会に参加して

教習所の仕事の素晴らしさを再確認し、初心に返りました。

3年前の特別講演会に初めて参加し、今回で2度目となります。前回は女性経営者(千葉県銚子大洋自動車教習所 澤田裕江様)ということで興味をもち、参加。同じ女性の立場として、とても勉強になりました。今回も永田佳子社長の「いのちをまもる自動車学校」という言葉に強く惹かれ、受講を決意しました。

永田社長は、社員2名を病で亡くした辛い経験から健康経営を重視しており、社員だけではなくその家族、そして教習生の健康まで気遣われて、とても素晴らしい経営者であると感服致しました。反対者もいる中、敷地内全面禁煙としたことは、非常に勇気のいることだったと思いましたが、社員に対しての健康診断受診の管理徹底、

常交自動車学校(福島県) 副管理者 吉葉 恵美

特に就業規則にも規定していることについては、とても感心させられました。実は、私自身も同僚を病で亡くした経験があり、健康でなければどんな素晴らしい知識や設備があっても無意味であるということを変えて実感致しました。

永田社長より、免許の先には新しい自分の姿があり、その夢のお手伝いをしている私たちの仕事はとても素晴らしいということを教えていただき、初心に返った気持ちになりました。楽しい懇親会もあり、全国各地で活躍されている指導員の方々とも交流できますので、皆様も機会がありましたら、ぜひ参加してみてください。

